



2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月5日

上場会社名 JUKI株式会社
 コード番号 6440 URL <https://www.juki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清原 晃

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 南 大造

TEL 042-357-2211

四半期報告書提出予定日 2019年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	74,424	8.9	3,238	48.0	2,476	55.8	1,683	53.8
2018年12月期第3四半期	81,703	10.1	6,221	11.7	5,603	3.9	3,645	3.4

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 480百万円 (84.4%) 2018年12月期第3四半期 3,077百万円 (21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	57.45	
2018年12月期第3四半期	124.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	114,135	36,828	31.6
2018年12月期	119,121	37,241	30.7

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 36,120百万円 2018年12月期 36,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		30.00	30.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	10.8	4,000	56.3	2,900	65.4	2,000	69.9	68.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	29,874,179 株	2018年12月期	29,874,179 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	578,603 株	2018年12月期	578,403 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	29,295,660 株	2018年12月期3Q	29,296,191 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

今年度における事業環境は、中国における景気減速、米中貿易摩擦の長期化や、英国のEU離脱問題等により、世界経済は不安定さを増す一方、AI、IoT、クラウド等への関心が高まるなど、技術革新の動きはますます加速しており、デジタル化、システム化の活用等、スマートカンパニー・ファクトリーへのお客様の戦略的投資ニーズも高まりつつあります。

このような環境認識のもと、当第3四半期連結累計期間においては、現中期経営計画のビジョンである「お客様に選ばれる高品質な製品・サービスを提供しつづける企業」を目指し、“モノづくり”から“コトづくり”企業への転換を図ってまいりました。具体的には、お客様の省力化・省人化ニーズに合った製品・サービスの提供や工場全体の生産効率を高めるスマートファクトリー等を提案するソリューション営業活動をボーダレスに推進するとともに、アジア市場を中心としたミドルマーケット開拓等による将来に亘る磐石な顧客基盤の構築や、グループ事業等将来を見据えたビジネスカテゴリーの創出に取り組んでまいりました。

このような状況の中で、当第3四半期連結累計期間においては、特に近直において米中貿易摩擦によりお客様の設備投資需要が減速し、中国、欧州等での売上の減少が顕著となった結果、売上高は744億2千4百万円(対前年同期比8.9%減)となりました。

利益面につきましては、コストダウン等による利益率の改善を図りましたが、売上減少や工場稼働率低下の影響、ソリューション体制強化等のための経費の増加等により営業利益は32億3千8百万円(対前年同期比48.0%減)、経常利益は24億7千6百万円(対前年同期比55.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億8千3百万円(対前年同期比53.8%減)となりました。

(主なセグメント別の概況)

① 縫製機器&システム事業

市場別では、アジアにおけるノンアパレルの売上が堅調に推移する一方で、中国、欧州での売上が減少したことから、縫製機器&システム事業全体の売上高は486億1千3百万円(対前年同期比9.6%減)となりました。利益面においては、売上減少の影響、工場稼働率低下の影響やミドルマーケット等ボーダレスの市場開拓を進める上での経費の増加などにより、セグメント利益(経常利益)は24億1千8百万円(対前年同期比34.1%減)となりました。

② 産業機器&システム事業

産業装置では、米国での売上が堅調に推移し、機種別では新型マウンタやスマートファクトリー提案で展開する自動倉庫、検査機、省力化装置等の売上が増加しましたが、一方で中国、欧州等での売上が減少し、産業機器&システム事業全体の売上高は256億2千9百万円(対前年同期比7.6%減)となりました。利益面においては、売上減少の影響やソリューション体制強化及び事業領域拡大等の先行開発を進める上での経費の増加などにより、セグメント利益(経常利益)は14億1千8百万円(対前年同期比47.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、リース会計変更に伴い有形固定資産が増加したものの受取手形及び売掛金やたな卸資産などが減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ49億8千5百万円減少して1,141億3千5百万円となりました。負債は、支払手形及び買掛金などが減少したことにより前連結会計年度末に比べ45億7千2千万円減少して773億7百万円となりました。純資産は、利益剰余金の増加はあったものの、為替換算調整勘定のマイナスが増加したことなどにより前連結会計年度末に比べ4億1千2百万円減少して368億2千8百万円となりました。これらの結果により、自己資本比率は31.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期通期の連結業績予想につきましては、第3四半期までの実績を踏まえて、売上高1,000億円、経常利益29億円、親会社株主に帰属する当期純利益は20億円へ修正しております。詳細につきましては、本日、別途開示の「通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,324	5,542
受取手形及び売掛金	33,465	28,423
たな卸資産	43,516	43,637
その他	2,825	3,051
貸倒引当金	△387	△398
流動資産合計	86,744	80,256
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,890	11,474
土地	6,362	6,362
その他(純額)	4,888	6,057
有形固定資産合計	23,141	23,894
無形固定資産		
投資その他の資産	1,992	1,959
その他	8,645	9,333
貸倒引当金	△1,402	△1,308
投資その他の資産合計	7,242	8,024
固定資産合計	32,376	33,878
資産合計	119,121	114,135
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,145	8,769
電子記録債務	5,140	2,946
短期借入金	35,901	36,264
未払法人税等	1,115	165
賞与引当金	38	673
その他	5,926	6,243
流動負債合計	59,266	55,062
固定負債		
長期借入金	16,153	15,556
役員退職慰労引当金	68	59
退職給付に係る負債	5,582	5,220
その他	809	1,407
固定負債合計	22,613	22,244
負債合計	81,880	77,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	2,035	2,035
利益剰余金	19,610	20,414
自己株式	△607	△607
株主資本合計	39,082	39,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	458	388
為替換算調整勘定	△2,973	△4,099
退職給付に係る調整累計額	△38	△54
その他の包括利益累計額合計	△2,552	△3,766
非支配株主持分	711	708
純資産合計	37,241	36,828
負債純資産合計	119,121	114,135

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	81,703	74,424
売上原価	56,863	52,160
売上総利益	24,839	22,264
販売費及び一般管理費	18,618	19,026
営業利益	6,221	3,238
営業外収益		
受取利息	33	31
受取配当金	122	120
受取手数料	151	140
貸倒引当金戻入益	172	106
その他	348	282
営業外収益合計	828	680
営業外費用		
支払利息	612	597
為替差損	782	771
その他	51	73
営業外費用合計	1,446	1,442
経常利益	5,603	2,476
特別利益		
固定資産売却益	15	8
特別利益合計	15	8
特別損失		
固定資産除売却損	35	9
出資金評価損	—	5
特別損失合計	35	14
税金等調整前四半期純利益	5,583	2,469
法人税等	1,834	756
四半期純利益	3,749	1,712
非支配株主に帰属する四半期純利益	103	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,645	1,683

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	3,749	1,712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△226	△70
為替換算調整勘定	△437	△1,146
退職給付に係る調整額	△7	△16
その他の包括利益合計	△671	△1,232
四半期包括利益	3,077	480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,989	470
非支配株主に係る四半期包括利益	88	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号（リース）を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報
前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	53,769	27,729	81,498	204	81,703	—	81,703
セグメント間の内部 売上高又は振替高	758	261	1,020	348	1,369	△1,369	—
計	54,527	27,991	82,518	553	83,072	△1,369	81,703
セグメント利益	3,672	2,719	6,391	44	6,436	△832	5,603

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△832百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△827百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	縫製機器 &システム 事業	産業機器 &システム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	48,613	25,629	74,243	181	74,424	—	74,424
セグメント間の内部 売上高又は振替高	798	118	916	353	1,269	△1,269	—
計	49,411	25,748	75,160	534	75,694	△1,269	74,424
セグメント利益	2,418	1,418	3,837	56	3,894	△1,417	2,476

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△1,417百万円には、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社損益△1,411百万円が含まれております。全社損益は、主に各報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用及び各報告セグメントに帰属しない為替差損益等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。